

東海道新幹線 東京駅におけるアート作品を用いた彩りの提供について ～「旅のはじまりに彩りを。」～

東海旅客鉄道株式会社（以下、「JR東海」）はこの度、株式会社ヘラルボニー（以下、「ヘラルボニー」）とともに、東京駅において、知的障害のある作家が制作したアート作品により設備を装飾します。これは、アートの彩りにより、東京駅をご利用になるお客様の旅が、より晴れやかなものになってほしいという思いと、多様な方々が行き交う東京駅において、知的障害のある作家を広く世の中に紹介することで、多様性のある社会を実現したいという思いを具体化したものです。

「異彩を放つアート作品」に装飾された東京駅にて、旅のはじまりに、素敵な時間をお過ごしください。

1. 装飾期間

2023年6月15日（木）から約1年間（予定）

2. 装飾場所

東海道新幹線 東京駅（東京都千代田区丸の内1-9-1）

- ・八重洲中央口きっぷうりば
- ・東海道新幹線八重洲中央南口改札内 スロープ

※改札内に入るには、乗車券類または入場券の購入が必要です。

3. 内容（別紙1・2）

- ・ヘラルボニーとともに、東京駅のきっぷうりばと改札内コンコースの一部を、「旅のはじまりに彩りを。」をテーマに、知的障害のある作家が制作したアート作品で装飾します。
- ・この企画に込めた思いを表すメッセージを、装飾箇所である八重洲中央口きっぷうりばの柱や東海道新幹線八重洲中央南口改札内スロープ付近の壁面に掲出します。
- ・使用するアート作品の一部は、東京駅で働く多くの社員が、お客さまの旅のはじまりに彩りを提供したいという思いを込め、選定したものです。

※ヘラルボニーは2018年7月に設立された、福祉を起点に新たな文化を創ることを目指す福祉実験ユニットです。

装飾イメージ

八重洲中央口きっぷうりば



【アート作者】

八重樫 季良

1956年 岩手県北上市生まれ(2020年没)

るんびにい美術館(岩手県花巻市)所属

一見抽象的な幾何学パターンを描いたように見える絵だが、それが独自のアレンジによって描かれた建築物だと知ったら多くの人が驚く。

この表現様式を八重樫は子どもの頃、誰に習うことなく独創によって生み出し、以来半世紀余りにわたってこのただ一つのスタイルで創作し続けてきた。

その作品数は数千点に及ぶと思われる。

八重洲中央南口改札内 スロープ



【アート作者】

郁美

1983年生まれ

多夢多夢舎中山工房(宮城県仙台市)所属

たくさんの人とコラボするのが好きで、ダンス、朗読、コラージュなどを行う。

2015年、素材としてのトワル(服)に出会う。

2016年5月よりトワル作品「雨」に取り組んで

以来毎日、フェルトを丸い形に切り、トワルに貼ることを続けている。



旅のはじまりとなる駅を彩りたい。

JR 東海は、福祉実験ユニット ヘラルボニーと共に
知的障害がある作家の個性豊かな、異彩を放つアート作品で
旅のはじまりとなる駅を彩りました。

アート作品は、皆さまの旅がより晴れやかなものになってほしい、
という思いを込めて、私たち東京駅の社員が選びました。

JR 東海とヘラルボニーは、旅をするすべての方に
彩りを添えられるよう、挑戦しています。

旅のはじまりに彩りを。

To make the beginning of your journey colorful.

JR Central collaborated with the welfare experimental unit "Heralbonny" to embellish the starting station of journeys with unique and vibrant art pieces created by neurodivergent artists.

These art pieces were selected by Tokyo Station employees, with the intention of making your travels even more delightful.

JR Central and Heralbonny are dedicated to enriching the journeys of all travelers.

JR Central presents vibrant colors to the beginning of your journey.



・アートによる彩りを提供し皆さまの旅を晴れやかなものにしたい、という、この装飾に込めた思いを綴ります。(英文併記)

・メッセージは、アート装飾付近の柱や壁面に掲出します。